

河村目呂二 38歳 大正13(1924)年  
東京にて © melodi library

かわむら りゅじ  
河村目呂二(本名：弘)は、明治19(1886)年、岐阜県揖斐(いび)郡宮地村(現池田町)に生まれました。大正4(1914)年、東京美術学校(現東京芸術大学)彫塑科を卒業。

「目呂二」の号は、好きだった音楽の「メロディ」と、憧れていた「竹久夢二」を語呂合わせしたものとされています。

化粧品会社の広告のデザインや雑誌の表紙、イラストを手がけるなど、商業美術の世界で活躍する一方、スケッチを書きため、塑像の制作にも取り組み続けました。

無類の愛猫家としても知られ、「MONEY-KEY猫」「縁福猫(芸者まねき)」などの猫人形を世に出し、その人気は今なお語り継がれています。

昭和19(1944)年、目呂二は軽井沢町追分に疎開し、翌年、草庵「木通庵」(もくつあん)を建てました。追分の自然を愛し、畑を耕し、俳画やスケッチなどの作品を描く日々を過ごし、昭和34(1959)年、73歳の生涯を閉じました。

今年は、河村目呂二没後65年を迎えます。本企画展では、大正期から昭和期にかけ、マルチアーティストとして活躍した河村目呂二の足跡を、晩年に追分で制作した作品を中心にご紹介いたします。河村目呂二の多彩な芸術の世界をご堪能ください。

# 奇才!河村目呂二のアーティスト人生

## イベント

### 教養講座1

7月27日(土) 13時30分～15時  
演 題>「追分の自然に曾祖父のまなざしを感じて  
～マルチアーティスト河村目呂二の素顔～」  
講 師>内山 舞 氏(河村目呂二ひ孫)  
定 員>30名 参加費>入館料のみ

### 教養講座2

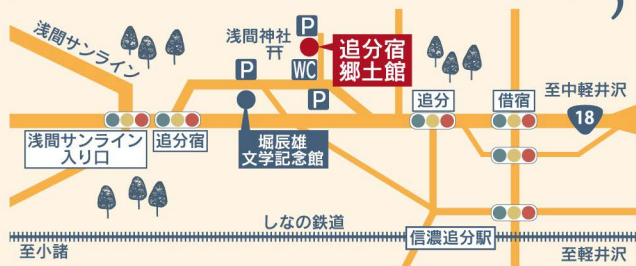
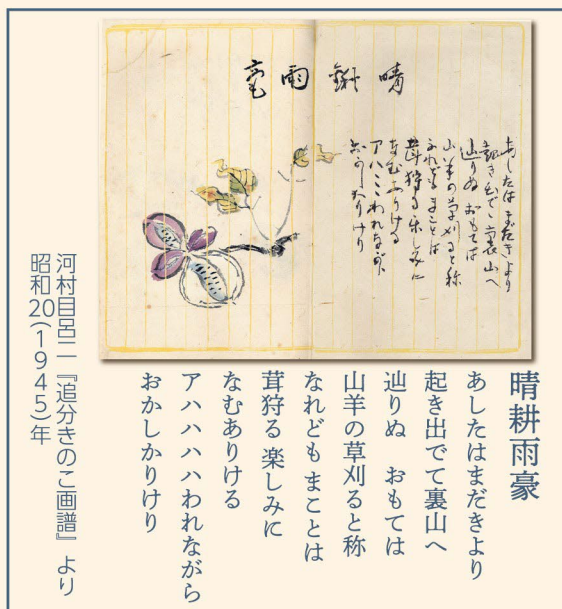
8月10日(土) 13時30分～15時30分  
演 題>「気候変動と大雨による災害について」  
講 師>須山 英典 氏(長野地方気象台 防災管理官)  
演 題>「最近の地震について」  
講 師>小林 昭夫 氏(長野地方気象台 火山防災官)  
演 題>「浅間山の今の状況と火山防災の日について」  
講 師>飯島 聖 氏(気象庁浅間山火山防災連絡事務所長)  
会 場>追分公民館 定 員>50名 参加費>無料

### 古文書講座

8月11日(日)  
①10時～11時30分  
基礎編>古文書を読んでみよう…初めてでも大丈夫です。  
②13時～14時30分  
中級編>古文書に親しもう…経験のある方向けです。  
講 師>深谷 大 氏  
(日本文化研究者・早稲田大学演劇博物館招聘研究員)  
定 員>各15名 参加費>入館料・資料代100円

### 各講座の申込み方法

- 申込開始 7月1日(月)から 9時～17時
  - 電話で申し込んでください(先着順)
  - ※休館日 7月3日(水)、7月10日(水)
- TEL.0267-45-1466



- JR北陸新幹線 軽井沢駅から車で約30分
- しなの鉄道 信濃追分駅から車で約5分、徒歩約30分
- 上信越自動車道 碓氷軽井沢ICから車で約30分、佐久IC、小諸ICから車で約20分

[開館時間] 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

[休館日] 期間中は無休

[入館料] 大人400円(300円)、小中高生200円(150円)

※( )内は20名以上の団体

※堀辰雄文学記念館と共通



## 追分宿郷土館

〒389-0115 長野県北佐久郡軽井沢町追分1155-8  
TEL.FAX: 0267-45-1466